

【様式1】

<p style="text-align: center;">市議会における政策提案とその対策等 〔一般質問〕</p>					
担当課	人権・同和対策課	議員名	梶山 太 議員	提案月	R2. 12
<p>〔提案事項〕</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中、感染者やエッセンシャルワーカー、その家族などに対する差別や偏見、いじめにつながらないよう、市民啓発に取り組んでもらいたい。</p> <p>また、シトラスリボンプロジェクトの普及推進など、佐賀県と連携した取り組みをお願いしたい。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>本市では、コロナ差別に関する市民の人権意識の高揚を図るため、広報伊万里やホームページ、ポスターなどでの啓発を行うとともに、『月刊じんけんかわらばん』や『ハートフルライフ・ハートフルワード』など、ケーブルテレビやY o u T u b eを活用しながら、人権教育や啓発活動に取り組んでいる。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>コロナ差別に対する啓発活動は本市が独自に取り組んでいるように、全国的に多様な方法で展開されており、シトラスリボンプロジェクトについても愛媛県で始まったその一つの方法であると認識している。本市においては、様々な手法を参考にしながらも、佐賀県が実施している手法を活用した啓発活動に取り組むことが最も効果的であると考えている。</p>					
<p>〔対応状況・令和3年3月31日現在 完了〕</p> <p>佐賀県では、児童・生徒が医療従事者等に応援メッセージを送ることで県民のコロナ差別に対する認識を深める「新型コロナウイルスと闘っている方々への応援メッセージ」のパネル展が県庁県民ホールにて開催された。県の事業と連携して本市においても、このメッセージなどを紹介するパネル展を2月1日から9日間、市役所市民ロビーで開催した。県の事業が終了することになり、連携した啓発活動もひとまず終了した。</p>					